

## 事業所の環境負荷削減

### ごみゼロ活動

#### 循環型社会形成への取り組み

##### 「5R活動」の徹底で、ごみの発生や排出量を抑制

ブラザーグループは、資源の有効利用や枯渇防止の一環として、「5R活動」を徹底することで、ごみの発生抑制、排出量の削減、埋め立てごみゼロ(廃棄物の埋め立て率1%以下)を推進しています。事業活動では、各事業所単位で取得しているISO 14001の仕組みを活用し、廃棄物の管理マニュアルを順守することで、計画的な削減活動を継続的に展開しています。なお、2003年度からはグループ全体の廃棄物削減に向け、海外生産拠点と国内事業所の廃棄物データを共通フォーマット化して全体把握に取り組み、各生産拠点で埋め立てごみゼロの維持と推進に努めています。

##### ブラザーグループの2014年度の活動実績

ブラザーグループでは、2014年に操業を開始したブラザー マシナリー ベトナムLtd.(以下、BMV)を除き、すべての生産拠点および国内事業所で、埋め立てごみゼロを維持しています。なお、2014年度の排出量の増加は、生産量が拡大したブラザー インダストリーズ (フィリピン)、兄弟機械(西安)有限公司、珠海兄弟工業有限公司、ブラザーインダストリーズ サイゴンLtd.および2014年度より集計に加えたBMV分です。

#### ブラザーグループの2014年度の取り組み詳細

##### 国内事業所の主な取り組み

ブラザーグループの国内事業所では、埋め立てごみゼロを2001年度に達成し、現在も埋め立て廃棄物を事業所から発生させない活動を継続しています。

##### 国内事業所における主なごみゼロ活動

- ・梱包材として使用されるポリエチレン(PE)やポリプロピレン(PP)、修理工程で発生する樹脂部品などのマテリアルリサイクルを推進
- ・リサイクル業者や再生業者を通じてリペレット化したPEを使用して再製造したごみ袋を、グループ内で利用
- ・専門の回収業者を通じて機密文書を裁断・溶融して再生した用紙を、グループ内で利用
- ・各部門で不要となった机や椅子、棚などの事務用品情報を社内で共有し、引き取り先を募って再利用を促進
- ・大規模厨房設備を設置している瑞穂工場の食堂で廃棄される食物残渣を、専門の回収業者を通じ堆肥化。さらに、食廃油についてもバイオ燃料化し、グループ内の物流部門で利用
- ・2014年度より、星崎工場の食堂で廃棄される食物残渣を堆肥化し、年間3トンの食堂ごみを再資源化
- ・破損して廃却予定となった木製パレットを補修し、社内で再利用
- ・分別を徹底することで、これまで廃棄物として処理していた納入部品の包装材を、材料リサイクルに転用

##### 海外拠点の主な取り組み

生産拠点では、排出される廃棄物に焦点を絞り、廃棄物の削減やリサイクルの推進、全拠点での埋め立てごみゼロ達成に向け、取り組みを続けています。

また、主要な販売拠点ではISO 14001の認証取得拡大に取り組み、廃棄物の削減活動を推進しています。

## 事業所の環境負荷削減

### ごみゼロ活動

#### 循環型社会形成への取り組み

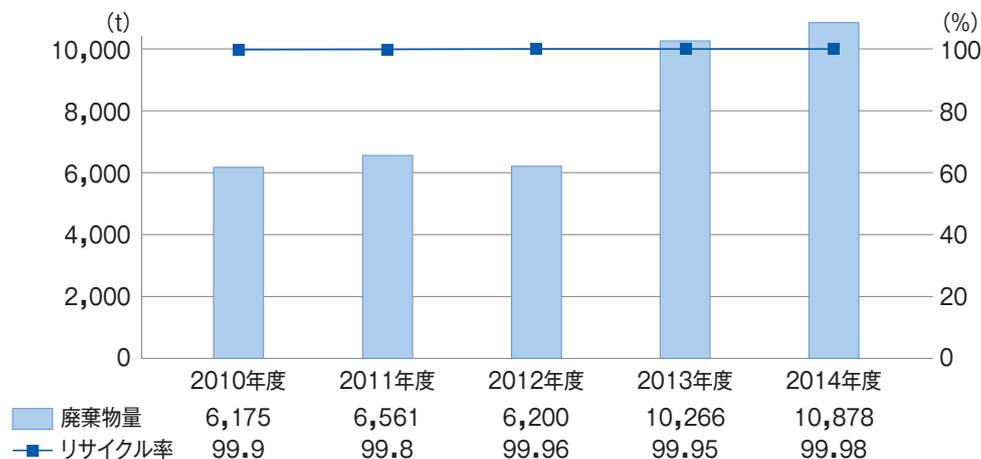
##### 海外生産拠点における主なごみゼロ活動

- ・古くなった作業着を袖カバーや来客用靴カバー、エプロンへとリフォームし、部品納入用の袋をごみ袋として再利用することで、ごみ削減の意識付けを実施
- ・リンター印字試験の紙使用量の削減、工場内申請文書の電子化などにより、紙廃棄物を大幅に削減
- ・部品用梱包箱の通い箱化、梱包形態の工夫による梱包部品点数の高密度化などにより、梱包系の廃棄を大幅に低減
- ・プリンティング機器の使用済みトナーカートリッジの回収箱の改善、樹脂ケース表面傷の補修技術向上などにより、再生トナーカートリッジのリユース率を高め、廃棄物の発生を抑制する活動を実施
- ・生産用設備の再利用を促進し、廃棄物を削減

##### 海外販売拠点における主なごみゼロ活動

- ・主要な販売拠点でISO 14001を認証取得、廃棄物の削減活動を推進
- ・廃棄物を種類毎に分別する活動を徹底し、ごみゼロ活動の意識付けを実施
- ・分別した廃棄物は、専門業者で適切にリサイクル処理を行い、資源の有効活用を展開

ブラザーグループの廃棄物量推移



#### 集計範囲

| 2010年度   | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度   | 2014年度                         |
|--|--------|--------|--|--------------------------------|
| ブラザー工業株式会社8拠点(本社、瑞穂・星崎・港・桃園・刈谷工場、技術開発センター、物流センター)、ブラザーインダストリーズ(U.K.)Ltd.、台弟工業股份有限公司、珠海兄弟工業有限公司、兄弟機械(西安)有限公司*、兄弟工業(深圳)有限公司、兄弟高科技(深圳)有限公司、ブラザーインダストリーズテクノロジー(マレーシア)Sdn. Bhd.、ブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.、三重ブラザー精機株式会社、ブラザーインダストリーズ(スロバキア)s.r.o. |        |        | 左記の集計範囲にブラザーインダストリーズサイゴンLtd.、ブラザーインダストリーズ(フィリピン)、株式会社ニッセイを追加 | 左記の集計範囲にブラザー マシナリー ベトナムLtd.を追加 |

\*: 兄弟機械(西安)有限公司は、2010年に西安兄弟工業有限公司(旧:西安兄弟標準工業有限公司)と兄弟マシン(西安)有限公司が合併した事業所です。また同年、兄弟マシン設備(上海)有限公司からの事業を移管されています。